

Convi.BASEのICタグ活用事例

◆不動産業 事例◆

- | | | | |
|--------|---------|--------|---|
| 【業種】 | 不動産 | 【課題】 | 情報の一元管理・棚卸し効率化 |
| 【管理対象】 | 鍵 | 【管理方法】 | 台帳管理(物品管理システム) 棚卸し (ICタグ) 貸出し (QRコード) |
| 【管理点数】 | 約8,000点 | | |



システム導入前

- 紙の台帳で鍵の貸出し・返却管理をしていたが、記入の不備が発生。
- 一店舗あたり棚卸しに3人がかりで数時間かかり、手間がかかる。
- 各店舗間で鍵を共有するので、鍵の所在確認に時間がかかる。

システム導入後

- 鍵にQRコードとICタグを貼付。
- 貸出し・返却処理は、iOSなどでQRコードを読み取るだけ、記入の不備がなくなった。
- ICタグを読み取り、10分程度で棚卸し。
- 店舗間で鍵の所在を問い合わせの電話が激減。

◆金融業 事例◆

- | | | | |
|--------|---------|--------|--|
| 【業種】 | 金融 | 【課題】 | 棚卸し・入出庫の効率化 |
| 【管理対象】 | 文書保存箱 | 【管理方法】 | 台帳管理(物品管理システム) 棚卸し (ICタグ) 入出庫 (ICタグ) |
| 【管理点数】 | 約3,000点 | | |



システム導入前

- 倉庫に保管されている文書保存箱を人力で管理。
- 管理台帳と文書箱の場所が一致しない。

システム導入後

- 文書保存箱にICタグを貼付。
- 入出庫処理時にICタグを読み取り、管理。
- 廃棄(出庫)時、ICタグを読み取って確認。
- 作業の効率化と誤廃棄防止を実現。

30秒でわかる概要動画公開中！



ICタグの特徴

ICタグとは

ICタグは、電波などの無線で通信する機能を持ったタグのことです。

最近ではアパレル店舗での在庫管理やセルフレジ精算でもICタグが使われるようになり、身近な存在になっています。

バーコードとICタグの違い

バーコード



ひとつずつ読み取る
(1次元バーコードの場合)

ラベルが見えないと
読み取れない

管理番号や物品名など
の情報を印字可能

ICタグ

複数タグ同時読み取りが
可能

タグの表面が見えていなく
ても読み取り可能

貼付対象物品によって
タグの使い分けが必要
(金属対応タグなど)



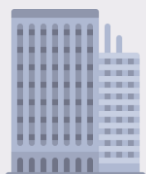
ICタグの効果的な場面

- ・複数の物品を一気に読み取って棚卸しを効率化したい
- ・複数の物品の貸出し、返却、入出庫をまとめて行いたい
- ・棚から物品を取り出さずに読み取りたい
- ・物品の探索を行いたい

文書の管理



固定資産の棚卸し



工具の管理



物品の探索

